

はばたき

2013 春号 第29号[通巻第140号]
平成25年4月発行[季刊]

編集・発行／佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujikai.or.jp
社会医療法人財団 白十字会ホームページ <http://www.hakujujikai.or.jp>

はばたき第29号●もくじ

- ①リウマチ・膠原病センターでの取り組み
VOL.5
- ②2012年12月より3.0T(テスラ)MRI装置が稼働しています。
- ③市民公開講座「認知症行動心理症状の理解」の講演を行いました
- ④入社式
- ⑤新任Dr紹介
- ⑥平成24年 外来満足度調査結果のご報告
- ⑦外来満足度調査フリーコメントへのお返事
- ⑧「緩和ケア医師研修会」を開催しました。
- ⑨病院のお仕事紹介～システム開発室について～
- ⑩患者様の声～ご意見箱より～
- ⑪健康レシピ紹介
- ⑫ふれあい健康フェスタ2013を開催します。
- ⑬外来診療担当表



入社式(関連記事は3ページ)

基本理念

患者さんが一日も早く社会に復帰されることを願います。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の快適な療養環境を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
3. 職員の総和をもって、納得の医療を推進し、患者さんから信頼され、愛される病院を作ります。
4. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
5. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
6. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

医療を受ける人の権利と義務

1. いかなる差別もなく公平な医療をうけることができる。(受療権)
2. 自身の病状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
3. 医療者の提案する診療計画を自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
5. 他施設の医師に相談することができる。(セカンドオピニオン権)
6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)



リウマチ・膠原病センターでの取り組み VOL.5

リハビリテーション部 小出将志

関節リウマチのリハビリテーション

関節リウマチは、手指や膝など全身の関節に腫れや痛みが生じて、関節がうまく動かせなくなる病気です。関節の腫れや痛みなど、いわゆる関節炎の症状が強くなると、ものをつかむ・持ち上げる・立つ・歩く・といった日常生活にも困難をきたします。また、朝のこわばりといつて、朝に手指などの関節がこわばるため、思うように起き上がりれない・動けないなどの症状がしばしばみられます。関節リウマチの症状が進むと、関節が破壊され変形することもあります。このため、早いうちに専門医の診察を受け適切な治療を受けることが大切です。

関節リウマチの治療としては、図1の4つの柱を総合的に行うことによって症状を軽減し、進行を防ぐことができます。

[図1]関節リウマチ治療の4本柱



[図2]手指変形



最近では、薬物療法が進歩して痛みや腫れなどの関節リウマチの症状が大きく軽減されるようになりました。しかし、症状が軽くなっていても関節の破壊が進む場合があります。特に手指や手首・足・足指などの関節の軟骨は傷つきやすいことが知られています。

軟骨は、関節を滑らかに動かす上でとても重要なはたらきをしており、たとえば手指の関節の軟骨が傷ついた場合には、ものをつまんだり握ったりする動きに支障をきたします。また、足指や膝の関節の軟骨が傷つくと、歩くのが難しくなることもあります。図2のようにいったん変形した関節は元には戻りません。

このため、痛みなどの症状が軽くなっていても関節に過度の負担がかからないように工夫する必要があります。そうした工夫を指導するのもリハビリテーションの役割のひとつです。

関節リウマチのリハビリテーションの目的は、痛みの軽減や身体機能の低下予防・改善、日常生活動作の維持です。関節リウマチの方の体と心の負担を少しでも軽くする為に、多方面から支援致します。

関節リウマチのリハビリテーションは主に、①運動療法 ②物理療法 ③装具療法 ④日常生活動作の指導・福祉用具の紹介を行います。①運動療法では、関節可動域の保持、筋力の維持・増強を目的としたリウマチ体操や関節可動域訓練、関節の動きを伴わない筋力訓練(図3)を②物理療法では、状態に合わせて温熱・寒冷療法や電気治療等による痛みの軽減を③装具療法では、関節を正常な位置で保持・矯正することで関節への負担軽減や変形予防を④日常生活動作の指導・福祉用具の紹介では、日常生活における痛みの軽減や関



[図3]筋力訓練(等尺性運動)
関節を動かすことなく筋収縮を促すことで、関節を守りながら筋力向上を目指す。

筋を保護することに繋がるような動作方法の紹介・指導、及び様々な動作の手助けとなる福祉用具や自助具の紹介を行います。(図4)

[図4]安楽に、関節保護のため、自助具の紹介



最後に、関節リウマチは以前は治らない病気だと言われていました。しかし、最近では早期に治療を開始することで進行を抑え、軽快に向う傾向が見られてきています。ただし、医療の進歩の一方で患者さんは激しい痛みや思うように動けないなど、様々な悩みを一人で抱えていることが多いと思います。患者さんにとって、ご家族や身近な人たちのサポートは大きな励ましになります。患者さん、ご家族みんなで関節リウマチに対する正しい知識を身に付け、毎日の生活を快適にしていきましょう。また、関節リウマチのケアについてのDVDも当院売店で発売中ですので患者さん、ご家族では是非ご覧下さい。

2012年12月より3.0T(テスラ)MRI装置が稼働しています。

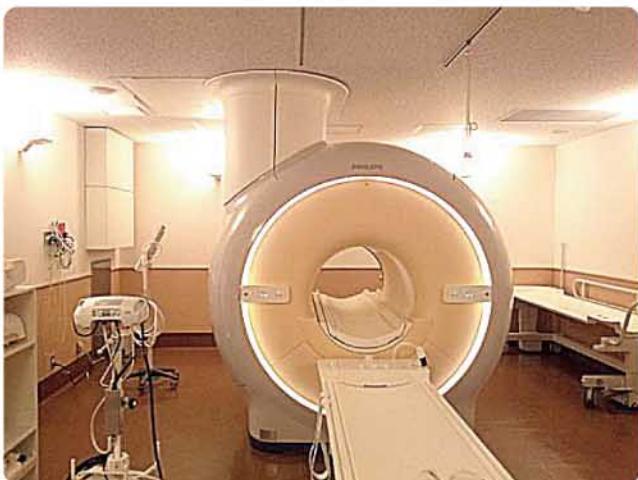
2012年12月より、新型MRI装置PHILIPS社製Ingenia3.0T装置が北側増築棟1階において稼働中です。

近年、MRI装置の検査需要が増大し緊急での検査も増加しつつあり、1台での運用も限界になっていました。しかし、既存のMRI装置とあわせ2台での運用となり、検査の予約待ちも大幅に減少しました。

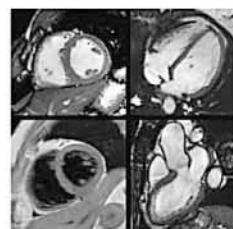
当院導入装置の特徴

- ・静磁場強度が既存装置の1.5T(テスラ)から3.0Tとなり画質が向上。
- ・デジタルコイルにより、MR信号を患者さんのもっとも近い場所でアナログからデジタル信号へと変換し、さらに光ファイバーでデータ転送を行うことにより信号比が最大40%増大し、画質の向上と検査のスピードアップにつながります。
- ・受信コイル(組織の信号を受信するアンテナの役割)がベッドの中に埋め込まれているためコイルの取り外しや位置決め変更なしで広範囲の撮像が可能です。
- ・開口径(トンネル部分)が60cmから70cmと広くなり、閉塞感を大幅に軽減することができます。

これらの特徴により、血管や中枢神経の描出、腫瘍の評価、関節領域や腹部・骨盤領域などで高い能力を発揮できるため、画像診断への更なる貢献が期待されます。また、患者さんにリラックスした検査環境を提供することができます。



PHILIPS社製Ingenia3.0T装置



上：Ingeniaで撮影した心臓のシネおよびBlack Bloodイメージング
右：Ingeniaで撮影した全身DWIBS（ベットライクイメージング）
(MultiTransmit使用)



市民公開講座「認知症行動心理症状の理解」が開催されました。

白十字会Instituteの一環として市民公開講座「認知症行動心理症状の理解」を開催いたしました。

初めにセンター長の井手医師より、認知症の疾患分類と、病態生理学的見地から認知症の行動心理症状がなぜ起きるかの基調講演を行いました。

次いで、精神保健福祉士川口より、認知症患者さんの心の中がどう変化しているのか、介護人はどう対応すべきかの総論的な解説をいたしました。

現場で認知症介護にあたっているドリームケア黒髪の松尾所長からは、個々の行動心理症状に対する具体的かつ詳細な介護方法を説明してもらいました。

講演終了予定時刻を少々過ぎてしましましたが、参加した方の多くは最後まで熱心に聴いていただきました。身内に認知症の患者さんを抱えている方が多かったようでしたので、今回の講座はまさに我が意を得たりの内容だったのではないかと思います。

(文責:認知症疾患医療センター 井手芳彦)

平成25年度入社式

平成25年4月1日(月)社会医療法人財団白十字会の入社式を執り行いました。本年度佐世保地区での採用者62名の内42名が佐世保中央病院勤務となります。また、医師の異動もあり研修医1名を含む8名が4月から佐世保中央病院に勤務いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

一日も早く一人前の白十字会職員・社会人として、立派な医療従事者になるよう日々精進していく所存です。よろしくお願ひいたします。

新入職員代表 臨床工学部 森田晃平





新任Dr.の紹介

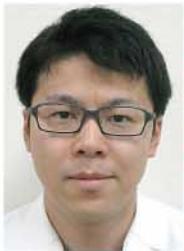
①診療科 ②出身大学 ③卒業年 ④出身医局 ⑤認定医、専門医などの種類(学会名)

⑥医師を志したきっかけを教えて下さい。また、この科を選んだのはなぜですか？ ⑦趣味、または特技を教えて下さい。⑧自己PRをお願いします。 ⑨最後に患者様へ何か一言お願い致します。



たけもと こういちろう
竹本 光一郎 Dr.

- ①脳神経外科(常勤)
- ②福岡大学 ③平成15年卒
- ④福岡大学医学部 脳神経外科
- ⑤日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医
- ⑥学生の頃より神経疾患に興味があり、外科治療に興味があったから。 ⑦音楽・映画鑑賞。最近は戦国武将の歴史に興味があり、勉強しています。 ⑧大分県中津市出身34歳。妻と息子2人と佐世保に参りました。妻は南島原市出身です。どうぞよろしくお願ひいたします。 ⑨安全堅実と患者さんとご家族に納得いただける治療を心がけております。治療方針については皆さんとよくご相談の上、最善の治療を選択していきたいと思います。



うめだ まさたか
梅田 雅孝 Dr.

- ①リウマチ内科(常勤)
- ②長崎大学
- ③平成22年卒
- ④長崎大学 第一内科
- ⑤①人の為になる仕事がしたくて。②研修医時代に熱や痛みで苦しんで入院されていたリウマチ・膠原病の方々が治療により改善し、喜ばれて退院される姿を見て ⑥釣、自転車 ⑦専門のリウマチ・膠原病はもちろんのこと、内科一般幅広く診療できる医師を目指しています。 ⑧患者さんの痛みや苦しみに寄り添い、温かな医療をご提供できるよ努めます。



おやま しょうざぶろう
小山 正三郎 Dr.

- ①外科(常勤) ②長崎大学
- ③平成22年卒
- ④長崎大学病院 腫瘍外科(第一外科)
- ⑤兄が医師を目指していたことがきっかけです。 ⑥読書、音楽鑑賞 ⑦まだまだ、医師になって日が浅いですが、一生懸命頑張りますので宜しくお願ひします。



たなか あきたか
田中 章貴 Dr.

- ①呼吸器内科(常勤)
- ②長崎大学
- ③平成16年卒
- ④長崎大学病院 第二内科
- ⑤日本内科学会認定内科医
- ⑥①人の役に立てる大変やりがいのある職業だと思ったから。②医学部の学生時代から、呼吸器特に感染症領域に興味があり、もっと勉強したいと思ったから。 ⑦スポーツ観戦 ⑧笑顔をモットーに、一生懸命頑張ります。 ⑨丁寧な診療、わかりやすい説明を心がけます。宜しくお願ひします。



あらまき としゆき
荒牧 俊幸 Dr.

- ①内科・リウマチ科(常勤)
- ②長崎大学 ③平成13年卒
- ④長崎大学 第一内科
- ⑤日本内科学会認定医
日本リウマチ学会専門医、評議員

⑥①生まれは医学とはまったく無縁でしたが、多感な時期に周りの友人に感染されました。②まだまだ分からることが多く、患者さんによって千差万別な症状があるところ ⑦読書、将棋(自分は指しません、プロの将棋を観るのが好きです。) ⑧なるべくフットワークが軽い医者であろうと思っています。声が響くので外来中は他のブースにご迷惑掛けますが宜しくお願ひします。 ⑨患者さんごとに病状や考え方があると思いますので、治療や療養の目的をはっきりさせながらお付き合いをさせて頂きます。話しやすいドクターと言われる様頑張りますので宜しくお願ひします。



はしもと やすまさ
橋本 泰匡 Dr.

- ①外科(常勤) ②久留米大学
- ③平成19年卒 ④腫瘍外科
- ⑤①メリハリのある外科に魅力を感じたため ⑥サッカー ⑦丁寧な説明、診療を心がけています。 ⑧患者さん中心の診療に努めています。



いけだ たかひろ
池田 貴裕 Dr.

- ①研修医 ②長崎大学
- ③平成25年卒

④高校1年生の時に見たテレビドラマ「Dr.コト一診療所」に感銘を受けて、自分もそのようになりたいと思いました。 ⑤卓球が好きです。映画鑑賞も好きです。基本的に体を動かすことが好きです。 ⑥体力はある方だと思います。多くの事を学びながら成長し、頑張っていきたいと思います。 ⑦分かりやすい説明ができるように心がけます。



もり ふみ
森 芙美 Dr.

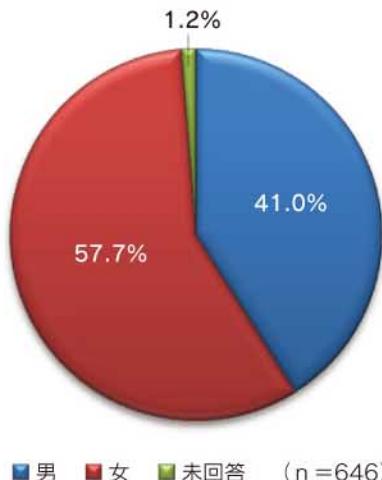
- ①糖尿病内科(常勤)
- ②長崎大学 ③平成17年卒
- ④長崎大学病院 第一内科
- ⑤日本内科学会認定内科医
日本糖尿病学会、日本内分泌学会

⑥①医師である父の姿をみて、こんな風に患者さんの助けになりたいと思いました。②糖尿病は慢性疾患であり、患者さん1人1人が一つも同じものはない、人生背景を持たれています。患者さんとじっくりお話をしながら、患者さん自身にあったオーダーメイドな医療ができる事に興味を持ちました。 ③旅行、美術館・博物館めぐり、音楽(歌うことが大好きです！) ④佐世保中央病院はスタッフが皆元気で、活気があると色々同僚に聞き、勤務を楽しみにしていました。笑顔と元気をモットーに、色々なことを学び、診療に生かしていきたいと思います。 ⑤佐世保中央病院で働ける事を楽しみにしています。患者さんたちが生き生きと暮らしていくよう、しっかりとサポートしていきたいと思います。

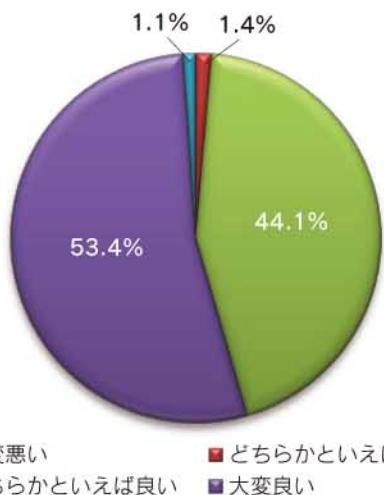
ご協力
ありがとうございました

平成24年 外来満足度調査結果のご報告

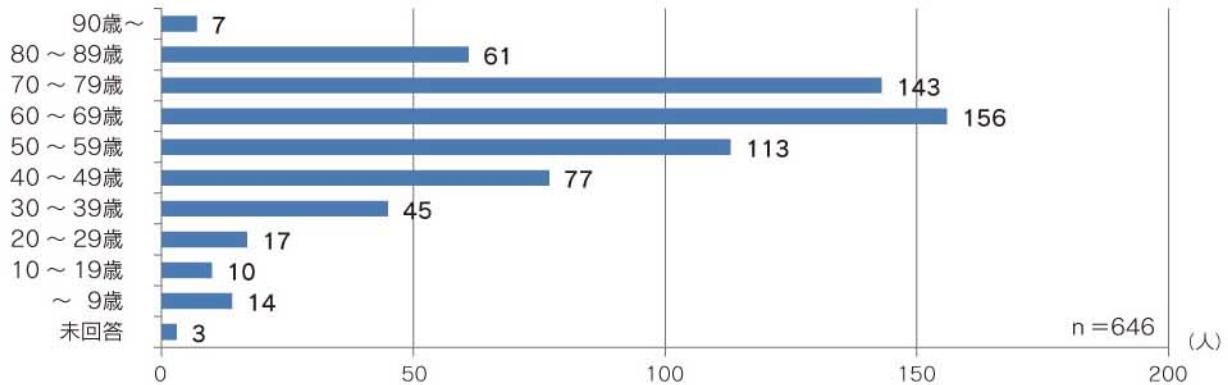
回答者性別割合



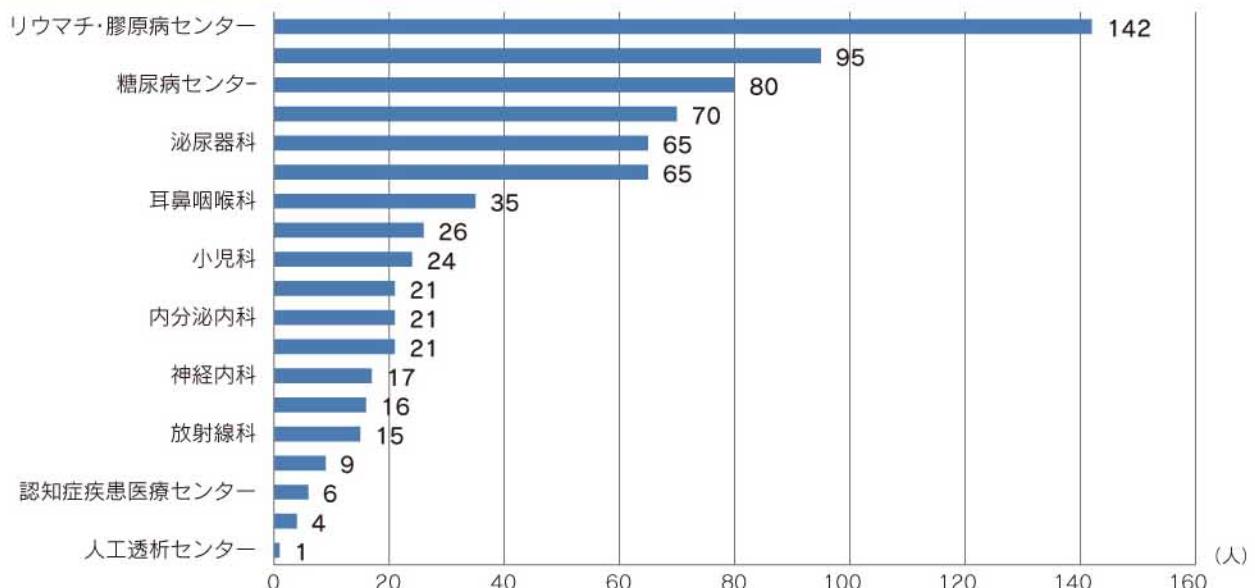
総合評価



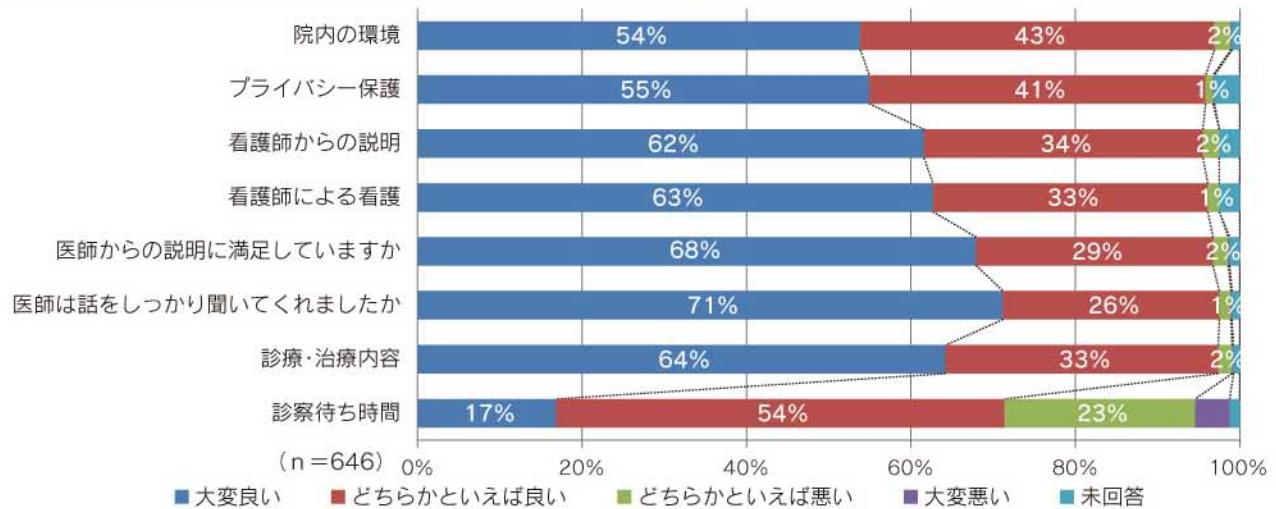
年齢別回答者数



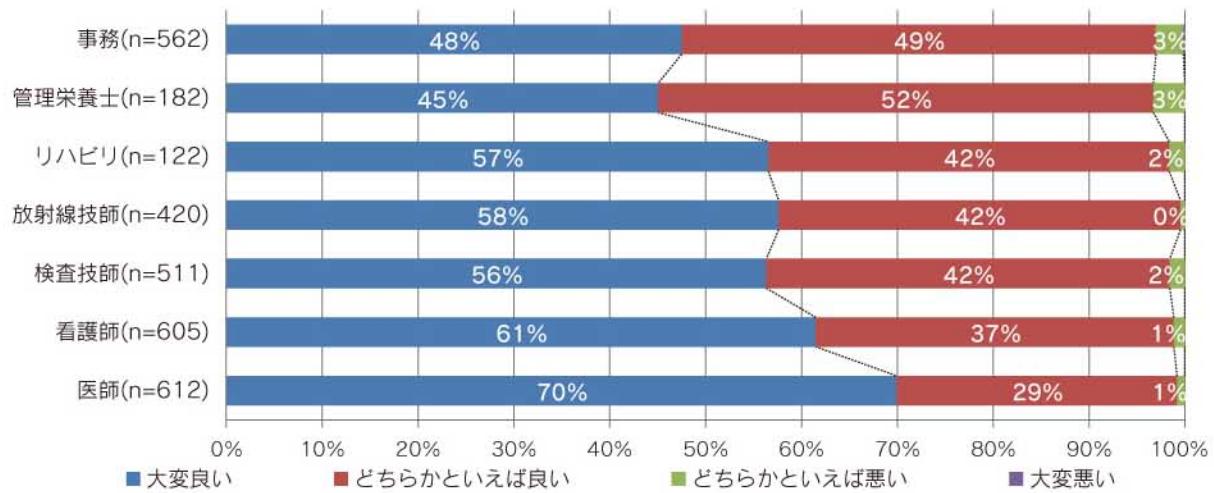
診療科別回答者数(複数回答)



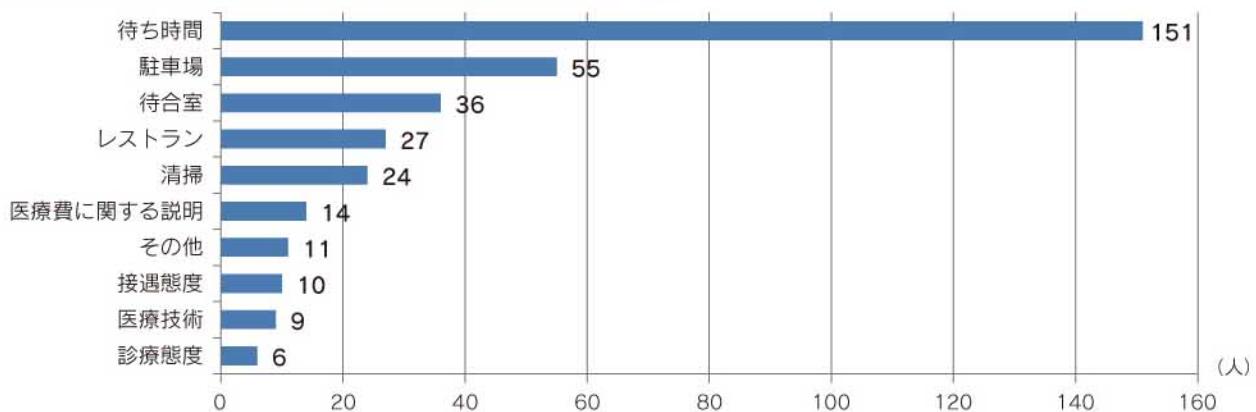
満足度



職種別満足度



「特に改善が必要である」と思われる項目(複数回答)



【調査結果をうけて】

総合評価としては全体の98%の方が大変よい、良いと高評価でしたが、満足度の中で待ち時間に対しては約30%の方が不満、改善すべき点であるとの回答を頂きました。

待ち時間の短縮は診療上難しい部分もありますので、発生する待ち時間を苦痛なく過ごしていただけるような環境を整えていくことが今後の課題であると考えております。調査へのご協力ありがとうございました。



外来満足度調査 フリーコメントへのお返事

外来患者さんの満足度調査アンケートへのご協力ありがとうございました。

いただいたフリーコメントにつきましてお答え申しあげます。なお、フリーコメントにつきましては多数いただいた中から代表的なご意見を一部抜粋、集約させていただいております。

■悪い点へのご指摘

該当部署	ご指摘事項	該当部署などからのお答え
臨床検査技術部	採血技術が下手(必ず2回以上は刺される)きついです。また採血の最中、さした針を押さえられると痛い。押さえなくても採血できるのでは?	当院、採血コーナーでは、正確で迅速な検査データを報告するために、実際に検査を実施する臨床検査技師が採血を担当しております。最近では全国の多くの病院で臨床検査技師が採血を行っている状況です。採血業務を担当する際にはペテラン技師による十分な技術指導、多くの職員の協力のもとに行う採血の実地訓練等を行った後、患者様の採血を担当するようにしております。しかしながら、患者様の血管の状態、神経の走行などにより再採血が必要な場合や痛みを伴う場合が御座います。今後も今回のようなご指摘を受けませんよう、技術の向上に努めてまいります。
臨床検査技術部	採血の待ち時間があまりにも長い。待合室も狭い。椅子も少ない。	現在増改築の計画中です。工事が完了した場合、採血台の増設と待合スペースの拡充が実現します。今しばらくのご辛抱をお願いいたします。
糖尿病リウマチセンター	糖尿病リウマチセンター内にはスタッフが多すぎるのではないか。	糖尿病リウマチセンターでは、医師・看護師・診療アシスタント・窓口クラーク・薬剤師・治験コーディネーター・医療秘書と協働して診療をすすめています。他職種との協働で患者さんをサポートする体制での診療にご理解いただきたいと考えております。
糖尿病リウマチセンター	糖尿病リウマチセンターの中にもっと多くの人が座れるよう椅子を配置したほうがいいです。座れなくて立っている人がいます。	昨年末に新規で椅子を購入いたしました。以前より多くの患者さんに座つていただけるように配慮いたしましたので、今後も状況を確認していきたいと思っております。また今後の増改築計画におきましては待合のスペースを十分確保できるよう計画いたしております。
糖尿病リウマチセンター	糖尿病リウマチセンターの問診記載用の鉛筆はHBだが、B、2Bなどに変更して毎日削っていただきたい。	HBを準備しておりますので、早急にBの鉛筆へ変更いたしました。時間を設定し削るようにいたします。今後定期的に状況を確認して参ります。ご意見ありがとうございました。
栄養管理部(給食委託会社)	レストランのメニューの増加をお願いします。	給食の委託会社の担当者と打ち合わせをし、順次メニューを増やしていきたいと考えております。
放射線技術部	大きい病院で待ち時間が長いのはわかるが、MRIやエコーは、後何分ほどかかるのかわかるのではないか?対応も悪い。	患者さんが、MRI受付にてカードを出された際に、検査予約時間とともに検査の進み具合をお伝えするようにしておりますが、それが徹底されていなかったものと思われます。今後は、予約時間の確認、検査の進み具合および待ち時間を必ずお伝えするよう再指導してまいります。なお、当院は脳卒中センターに指定されており、緊急MRI検査が必要な脳卒中の患者様がお見えになることがございます。この場合は、予約患者さんにもお待ちいただく場合がございますが、その説明は必ずさせていただきますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。



ご協力
ありがとうございました

■悪い点へのご指摘

該当部署	ご指摘事項	該当部署などからのお答え
放射線技術部	レントゲン室の更衣室に椅子があると助かります。	患者さんがお着替えになる際、できるだけ広いスペースを使っていただきたいと、現在更衣室内に椅子は置いておりませんが、必要に応じて提供できますようご用意はしております。患者さんの状態や撮影する場所(ズボンや靴などを脱いでいただく場合)によって、椅子のご利用をお尋ねするようにしておりますが、今回、それが徹底されていなかったものと思われます。今後、このようなことがないよう再度指導してまいります。
外来各部署	レントゲンの撮影場所や心電図をとる検査室などの場所の説明が足りない。こちらから場所を聞いてから説明があつたので、先に一言案内いただければスーズだと思う。	患者さんへ案内カードをお返しする際は、次の場所をご存知かどうかの確認を行つてからそのご案内をするようにしておりますが、それが各外来で徹底されていなかったものと思われます。再度徹底してまいります。
事務部	初診受付の態度に、温かさがない。対応があまりにも事務的である。	ご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。表情や言葉遣いなど、接遇において改めて指導・教育いたします。

■良い点へのご指摘

該当部署	ご指摘事項	該当部署などからのお答え
リハビリテーション部	リハビリの先生がとても親切で、よくしてくださいます。	ありがとうございます。これからも皆様に喜んでいただけるよう、頑張ります。
看護部	看護師さんがこれでもかというくらい丁寧な言葉使いをするところ。説明する時に必ず患者目線まで座つて説明をしている。	あまりに丁寧すぎるのも懲罰無礼と感じられたり、患者さんにとっては、話しくいこともあるため、患者さんの状況に応じて対応できるようにしてまいります。
医局・看護部	先生や看護師さんがじっくり話を聞いてくださるし、やさしく親切で話しやすい。	今後も患者さんから信頼され愛される病院となるよう努力してまいります。
栄養管理部(給食委託会社)	レストランを利用しましたが、安くて、味もまあまあで良かったと思います。	ご意見ありがとうございます。今後もよりよく向上するよう努めていきたいと思っております。
放射線技術部	放射線の方々については対応が良いです。	放射線技術部では、毎週接遇向上に関する目標を決めスタッフ全員で取り組んでおります。まだまだ、行き届かないところがたくさんあるとは思いますが、今後も継続し努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。
事務部	以前に比べ会計が時間的に早くなつたと感じる。	お褒めいただきありがとうございます。今後も精進いたします。

「緩和ケア医師研修会」を開催しました。

佐世保中央病院 緩和ケア研修会事務局 田中 宏昇

去る3月9日(土)10日(日)に「佐世保中央病院緩和ケア医師研修会」を開催しました。この研修会は「がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針(「厚生労働省健康局長」)に基づく研修会で、「がん診療連携拠点病院」「がん診療連携推進病院」が毎年実施する研修となっています。

また、がん診療に携わる医師に対し、緩和ケアについての基本的な知識を習得いただき、受講された皆様が治療の初期段階から緩和ケアを提供できるようになることを目的としています。

当院は長崎県より「がん診療連携推進病院」の指定を受けており、平成22年度より年に1回研修会を開催しております。



今回は5名の外部講師(白髪内科医院 白髪 豊先生、千住病院 東 謙一郎先生、佐世保共済病院 深野 拓先生、天神病院 西川清臣先生、佐世保市立総合病院 平井寿昭先生)をお迎えし、当院の國崎 忠臣先生、碇 秀樹先生と合わせ7名の講師で、2日間に渡り講義やロールプレイングを実施しました。

当日は「緩和ケア概論」「がん性疼痛の治療」「痛み以外の身体症状緩和ケア」、「がん医療における精神的ケア」、「がん医療におけるコミュニケーション技術」「地域連携と治療・療養の場の選択」について学び、医師だけでなく看護師・薬剤師にもご参加を頂きました。

参加された皆様からは、「専門科が違うので緩和ケアは敬遠していたが、今後は臨床に取り入れ、在宅医療の輪を広げたい」「在宅緩和ケア、在宅看取りなど地域連携による緩和ケアの進歩と広がりに目から鱗だった」「事例検討は、専門領域の実直な意見が聞け、チームで関わる事の大切さを学んだ。明日から診療に生かしたい。」「日本社会全体が死を考え、死生観を育む必要性を感じる」など、多彩なご意見が聞かれました。講師、受講者ともに学びの多い研修となりました。



●システム開発室

現在、当院のシステム開発室には13名のスタッフが在籍し、主に「電子カルテ」の開発・運用を行なっています。

近年では、紹介患者さんが増えているため、「地域医療システム」と呼ばれる紹介先の病院や診療所と患者さんの診療情報を共有できる取り組みにも力を入れております。

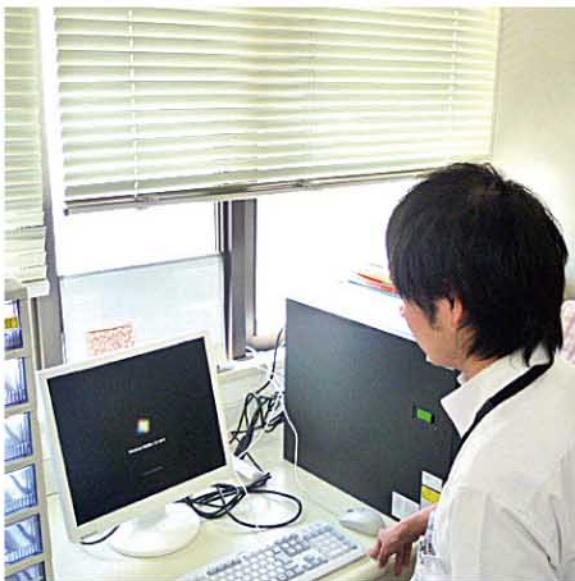


●当院の電子カルテ

診療に関わる医療スタッフが院内のパソコンで患者さんの診療情報を記録・閲覧できるカルテのことです。当院の電子カルテは、医療スタッフの意見を取り入れながら院内で開発しています。その独自性が珍しく、全国の病院から見学者が絶えません。愛称は、「[Hakujujikai Organizing Health and Medical Information Enterprising System](#)」の略で[HOMES](#)と言います。

●災害にも耐えうる診療支援体制の確立を目指して

東日本大震災を教訓に、災害が発生し電源の確保が困難になったことを想定した訓練を行いました。訓練では、カセットガスで発電するenepo(HONDA製)を使用しました。カセットガスの在庫は3日分を想定しています。



救急部の建物内



救急部の建物外

患者様の声～ご意見箱より～

貴重なご意見
ありがとうございます



『トイレ設置のエアタオルが必要なのか?』とのご指摘について

『トイレに設置されているエアタオルが音もうるさいし、節電をしなければならない時期に必要なのでしょうか?ペーパータオルも資源の無駄使いになるので、皆さんハンカチを持たれたらいかがでしょうか?』とのご意見をいただきありがとうございます。

ご指摘のとおり、ペーパータオルはコスト的にもエアタオルの電気代に比べ高いうえに環境に与えるダメージも大きく、原則として廃止いたしております。しかしながら、エアタオルにつきましては、特に手指を温風で乾燥させることでの雑菌繁殖の防止、感染防止の観点から、各トイレに設置いたしております。

もちろん、お見舞いなど一般の方については、本人様のハンカチの利用を妨げるものではありませんが、何度か使用して湿ったハンカチなどは雑菌が繁殖しやすいので、ハンカチを使わず乾燥させることができるエアタオルを設置している次第です。

今後、エアタオルの設置入れ替えの機会がある場合は、電気消費量や騒音のより少ない機種を念頭に機種選定してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

施設課課長 石橋 薫 感染制御部 奥田 聖子

『病棟の面会ルーム(デイルーム)等での小さい子供連れの親のマナーが悪い』とのご指摘について

『面会ルームなどで小さい子供が走ったりわめいたり。靴のまま椅子に乗ったりしているのを注意しない若いお母さんが多い。』とのご指摘をいただきありがとうございます。

当院といたしましても障がい者用の駐車スペースに健常な方が車を止めるなど、様々なマナー、モラル違反に頭を痛めている次第でございます。今後そのような方がおられましたら、見て見ぬふりをせず、それとなく注意を促していくけるような病院の雰囲気を醸成していくよう、啓蒙にも心がけてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

病院長 植木 幸孝 事務長 藤田 武徳

病室ベッドの照明灯に関するご意見について

「病室の枕元の照明が明るすぎて、消灯後、読書などする場合、他の入院患者の迷惑になる。2段階照明にすることはできませんか?」とのご意見につきまして、お答え申し上げます。

ご指摘いただきましたベッド枕元の照明灯につきましては、これまで同様のご要望が出ていますものの、残念ながら今現在、設備投資のタイミングの観点から入れ替えの計画がなく、ご希望に添え兼ねる状況でございます。

しかしながら今後、病棟病室の全面的なリニューアル、もしくは病棟の増築等が計画される際には貴重なご意見として参考にさせていただきたいと考えております。

貴重なご意見ありがとうございました。

施設課課長 石橋 薫

健康レシピ紹介

スナップエンドウとトマトのおかか和え

春野菜のスナップエンドウは食物繊維、ビタミンB1・B2が豊富に含まれています。

トマトと一緒に摂ることでビタミンCも加わり、色もカラフルになります!!

春野菜はスナップエンドウの他に春キャベツやアスパラガスなど鮮やかな緑色をしている野菜が多く、春の訪れを感じさせてくれます。



作り方

①スナップエンドウの筋を取り、さっと湯がきます。そして、半分にカットします。

②プチトマトは半分にカットします。

③ポン酢と柚子こしょうを合わせ、スナップエンドウとプチトマトを合えます。

④お好みの量でかつお節を和えて出来上がり。

【材料】1人分

スナップエンドウ	50g(8~10本程)
プチトマト	80g(7~8個程)
ポン酢	大さじ1
柚子こしょう	小さじ1/2
かつお節	お好みで

柚子こしょうの量はお好みで調整してください。ピリッとしたアクセントになります！ とても簡単なので、もう1品欲しいときやおつまみとしても最適です☆

栄養管理部
貴島 左知子

お知らせ

ふれあい健康フェスタ2013を開催します。

今年も地域の方々を対象にした健康イベントを開催します。
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

開催日 平成25年5月18日(土)

時間 9:00 ~ 12:30

場所 佐世保中央病院新館4階
(健康増進センター)



外 来 診 療 担 当 表

全診療科予約制

平成25年 4月1日現在		月 火				水 木				金	
		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
内 科	呼吸器	小林		田中				安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)	
	内分泌										藤山(非)
	骨代謝										
	腎・透析		浪江						浪江(再)	林(非・再)	林(非・再)
	神経内科	竹尾(再)		竹尾(再)		竹尾		吉村(非)		竹尾(再)	
	リウマチ 膠原病 センター	一瀬(非) (長崎大学担当医)		岩本	植木					岩永	荒牧
	新患 再来	植木	岩永	岩本	梅田	寺田	梅田			寺田	荒牧
	糖尿病 センター	岩永・一瀬(非) (一瀬(非)・荒牧)		岩本						植木	
	新患 再来	藤島			森(美)					松本	
	松本		松本・藤島(非)	森(美)	藤島(非)	松本	松本・藤島(非)			尾崎	
循環器科	新患	木崎		矢野(非)		中尾(功)		木崎		矢野(非)	
	再来	赤司		中尾(功)・高原・矢野(非)		木崎・赤司		中尾(功)		木崎・矢野(非)	
	消化器科	山道		松崎	富永(再)・竹島(非・隔週)	小田	磯本(非・隔週)	小田		大石	
	(消化管) (肝胆膵)	草場		木下		松崎		山道		木下・大石	
人工透析センター		浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林
外 科	新患	梶原・重政	※	草場	※	碇	※	橋本	※	佐々木・小山	※
	再来	碇		菅村(非)		菅村(非)	羽田野	重政		碇	
	特別顧問外来	國崎				國崎					
	脳神経外科	阪元	※	※	阪元	※	※	※	※	阪元	※
	心臓血管外科	竹本			衛藤(非)					竹本	
泌尿器科	皮膚科	※	※	柴田	※	※	※	柴田	※	※	※
	小児科	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※
	新患	山田	循環器外来 (第1・第3、第5週)	山田	乳幼児健診・予防接種	山田		アレルギー外来 (山田)	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	乳幼児健診
	再診	犬塚	心身症外来 (第2、第4週)	犬塚	神経外来 (第1週休診)	犬塚	心身症外来	犬塚	神経外来	犬塚	生活習慣病外来 (隔週)
眼科	眼	德永	※	南	※	德永		南	※	德永	※
	耳鼻咽喉科	南		德永		南(前立腺)	徳永			南	
	放射線科			上松(非)							
放射線治療計画	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾
	救急総合	澤瀬	高原	森(美)	担当医	山道	羽田野	赤司	岩永・荒牧	梅田	田中
	診療部	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
メモリークリニック(もの忘れ外来)		井手		井手		井手		井手		井手(再)	
専門外来		インター・フェロン(新患・紹介のみ) 木下 14:00~16:00	ストーマ 重政 第2火曜日 14:00~16:00	禁煙 菅村 第2・4火曜日 13:30~15:30	乳腺 碇 14:00~17:00			CAPD 林和 第4週1度・再診 14:00~15:00	乳腺 佐々木 13:30~16:30		
健康増進センター		ペースメーター 木崎・中尾(第2・第4週) 14:00~16:00	ステントグラフト外来 谷口 13:00~14:00								
乳がん検診		乳房 佐々木 第2・第4週曜日 14:00~17:00									
健診婦人科(特別顧問外来)		寺園		寺園		寺園		中尾		寺園	
		板倉		野々下・板倉		山本・寺田		寺園・寺田		松永	
		佐々木		碇		佐々木		碇		橋本	
		石丸		石丸		石丸		石丸		石丸	

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30
(専門外来・紹介のみ)

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00

(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただいております。

☆:救急部24時間体制 *:当番医 (非):非常勤 (再):再診

※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっています。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間
月～金曜日
8:30~17:30

予約専用
電話番号

0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は **TEL/FAX 0120-33-8293** 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)